



7/22(土) 売り切れご免!!
第4回
とれとれ朝市・ひの

9:00~12:00
米子市元町サンロードパティオ広場
日野郡内の直売市など6店舗が、
朝採れの新鮮な野菜や果物、
農産加工品を販売!!



8/27(日) 日野川源流 かつぱまつり

午前10時開会(受付:午前8時~)
※荒天の場合、前日午後3時に中止決定あり

いまや奥日野・日南町の夏の風物詩「かつぱまつり」。「日野川の自然をいつまでも」をテーマに、親子が楽しく参加できる夏休みイベントです。生け簀でのヤマメ・マスのつかみ取り大会、バーベキュー大会(ヤマメ、マスの塩焼き、牛焼肉)、ヤマメの放流などに、子どもたちの歓声があいにこだまします。

- 会場/日野川(生山 大田原出川) 江府消防署生山出張所前
 - 参加料/前売券/小学生以上:500円 高校生以上:1,500円(各種参加費:バーベキューの具材等含む)
 - 当日券/500円増し ※小学生未満は無料
- 主催:問い合わせ先/日南の水を守る会 事務局(パセオ内サラダ館日南店) TEL.0859-77-3010 (佐々木)

7/23(日) 日南町・大宮里山まつり & 菅沢ダム見学会

9:00~16:00

~菅沢ダムと印賀鋼のふるさと大宮を訪ねる~

ダム内部の見学や、ダム湖遊覧が人気の菅沢ダム恒例のイベントにあわせ、今年初めて開催される「大宮里山まつり」。菅沢ダムは鳥取県最大のスケールを誇り、大宮地区は幻の鋼ともうたわれた「印賀鋼」発祥の地。旧大宮小学校を中心に印賀鋼にまつわる貴重な資料の特別展示や、子供も大人も楽しめる「砂鉄採り体験」、自然の素材を使った「リース作り教室」、「田舎おやつバイキング」、朝どれ野菜を集めた「大宮特産市」など多彩な内容です。

■名所巡り・古代服を着ての記念撮影も!
また県重要文化財の「印賀宝篋印塔(いんがほうきょういんとう)」や「聖滝(ひじりたき)」では地元ガイドによる案内も。聖滝は、倭の国の国王・瓊々杵命(ににぎのみこと)が、それはそれは美しい木花咲耶姫(このはなのさくやひめ)を見そめ婚約の儀を執り行った場所として知られ、その古代神話をともに「古代服を着ての記念撮影」も予定されています。

■新収蔵品 長谷川富三郎展
~郷土ゆかりの板画家~

7月15日(土)~8月27日(日) 日南町美術館



鳥取県を代表する板画家、長谷川富三郎(1910-2004)。姫路市で生れ、幼くして父親を亡くして15歳の時、姉の嫁ぎ先であった日南町上石見の家から鳥取県立米子中学校(現在の米子東校)へ通い、鳥取師範学校卒業後は倉吉で教員となりました。その教職の傍ら「砂丘社」や「民芸運動」の活動に加わり活躍。この展覧会では、遺族から日南町美術館に寄贈された版画10点の他、新見美術館所蔵の作品をあわせてご紹介します。



ありがた〜い名前
有名「金持神社」
金運招福グッズが話題!!

福を呼び寄せるといふ黄色いハンカチ、霊験あらたかな御守りなどをゲットしに、ぜひお立ち寄り下さい!
●金持売店:毎日営業! TEL.0859-72-0481
●営業時間/10:00~16:00
●根雨より180号線を四十曲峠方面へ車で約5分

第31回船通山記念碑祭
第39回宣揚祭(せんようさい)

10:30~ 会場/船通山山頂
(雨天時 奥出雲町鳥上「鳥上公民館」)

ヤマタノオロチ神話が伝わる船通山。その山頂を舞台にして須佐之男命(すさのおのみこと)がこの山に住む大蛇を退治する様を描いた剣舞を行います。また、山頂からの景色は、日南町~奥出雲町をはじめ島根県多郡の山々、そして遠くには伯耆大山、弓ヶ浜半島、宍道湖、三瓶山など、その眺望はとても素晴らしく、誰もが歓声を上げます。
●アクセス/JR生山駅より183号線を広島県庄原方面へ約18分。臨時案内看板より県道15線を北へ10分。船通山林道に入り約8分で船通山駐車場着。

7/28(金)

展覧会Pick up!

■つゆのひとしずく
<小泉八雲と植田正治>

7月15日(土)~10月15日 植田正治写真美術館



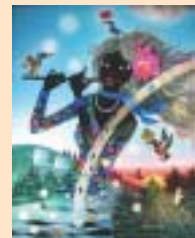
シルウエット・1936年
©Shoji Ueda Office

著書『知られぬ日本の面影』『怪談』等で知られる作家・小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)は、「わけてもここは神々の国である」と山陰を賞賛しています。1913年鳥取県境港市に生まれた植田正治は、一貫して郷土山陰を撮り続け、写真というメディアの探求を通して

自らの世界を展開し続けました。松江市出身の俳優・佐野史郎氏は、同じ山陰の地を縁としながら時代もジャンルも違う二人の世界観を組み合わせた監督映像作品「つゆのひとしずく」を発表しました。今回の展覧会では、この映像作品のイメージをベースに構成し、小泉八雲の文章を通して植田正治の世界を読み、また、植田正治の写真を通して小泉八雲の世界を見るという新しい試みを紹介します。

■米子市美術館特別展
「藤城清治 光と影の世界展」

7月15日(土)~8月27日(日) 米子市美術館



愛のメロディー

童話の世界や郷愁を誘う情景などを幻想的な色彩のシルエットで詩情豊かに描き、影絵を芸術として広く浸透させた影絵作家の第一人者・藤城清治(ふじしろ せいじ/1924年生まれ)。初期のモノクロ作品から最新作まで大作を中心に約150点を選びすぐり半世紀以上に及ぶ影絵創作の軌跡を振り返ります。
●藤城清治トークショー/7月15日(土) 13:00~
申込み不要/定員150名程度(米子市立図書館大会議室)
●藤城清治サイン会/7月15日(土) 14:30~
7月30日(日) 13:00~8月27日(日) 13:00~
●学芸員によるギャラリートーク/毎週土曜日14:00~
●ミュージアムスタンブラリー/米子市美術館主催事業参加者対象/専用スタンプ用紙に捺印、5個もしくは、10個で記念品をプレゼント

■近代日本画の巨匠
「生誕120年 前田青邨展」
—匂い立つ典雅なる気品—

7月22日(土)~8月14日(月) 島根県立美術館



異装行列の信長

確かな時代考証に基づく歴史画を最も得意としながらも、肖像画、花鳥、風景など幅広いモチーフに非凡な才能を示した近代日本画の巨匠・前田青邨(まえだせいそん/明治18年~昭和52年)。岡倉天心を中心とする日本画の革新運動の一翼を担い、さらに大和絵の絵巻、仏画、琳派の作品などさまざまな古典も幅広く摂取して作域を広げながら、日本美術院の第二世代として画壇をリードし続けました。戦後も次々と代表作を発表し、昭和30年文化勲章を受章。法隆寺金堂壁画再現模写事業、高松塚古墳壁画模写の総監修などをつとめ、文化財保護にも大きな貢献をしています。今回の展覧会では初期から最晩年にいたる代表作約90点を展示し、青邨芸術の全貌に迫ります。

●関連イベントとしてワークショップ「日本画材料実験室」(7月29日)、記念講演会(8月6日)、担当学芸員による展示解説・ギャラリートークを開催。8月19日(土)に納涼コンサートも予定。

予告

■浅田重子遺作展
藍・愛ふれあい~布の手あそび~

9月3日~9月10日 米子市淀江文化ホール

仕事着として愛用された紺の古布をつなぎ合わせ、故浅田重子さんが一枚の絵のように仕上げたパッチワーク。その遺作、約70点を一堂に展示。

とっとり花回廊 TEL.0859-48-3030 7~8月のイベント情報



★サマーフェスタ
7月22日(土)~8月31日(木)

会期中無休

※毎週金・土・日曜日と8/14、8/15に
ムーンライトフラワーガーデンを実施

夏の花回廊は大山を借景に、涼しげに咲くブルーサルビアと、夏らしさを感じさせるルドベキアによる合計10万株のお花畑が広がります。小動物たちとふれあえるミニ動物園などファミリーが楽しめるイベントも盛りだくさん。また、夜になるとピンクの花を咲かせ、明け方になると散ってしまふサガリバナも登場。神秘的なこの花を見るために、西表島へ行くツアーが組まれるほどですが、夜間営業時の花回廊ではお手軽に楽しむことができます。世界的な照明デザイナーによる幻想的なライトアップと、自然が作り出した美しい花の競演は必見!!夜の昆虫採集やちびっこナイトウォーク、ムーンライトコンサートなど夜ならではのイベントもお楽しみ下さい。

7月開催のイベント

- 福美会ちぎり絵展 ●世界のいるなるマトたち ●夏休みクイズラリー ●ムーンライトコンサート ●ナイトウォーク

8月開催のイベント

- 琉球フェスティバルinとっとり花回廊~夏川りみスペシャル野外ライブ~ ●ひおき夢折工房~立体ちぎり絵の世界~ ●夏休みクイズラリー ●ムーンライトコンサート ●ナイトウォーク ●夜の昆虫採集